

いさおだより

12月号

平成25年11月29日
和歌山市立有功小学校

参観 講演会 「健やかな子どもの成長を願って」より

季節が進み、朝夕の冷え込みも厳しくなりました。2学期も12月を残すのみとなりました。

さて、11月23日の土曜参観、24日の子どもまつりには、たくさんの方が来校くださり、ありがとうございました。

参観授業後に講演会が開かれました。参加され保護者の方は少なかったのですが、子育てに、家庭・学校・地域が何を一番大切にしていけば良いかというお話でした。

元貴志小学校校長 田中英明先生が、「健やかな子どもの成長を願って-根っ子の力を育てよう-」という題ご講演くださいました。子育てを「1本の大きな木を育てる」ことに例えて、分かりやすく話してくださいました。

木の部分でいちばんよく見える「葉」が「知(学力)」であり、それを支える「枝」が「体」、支えている部分が「根」で「徳」ということになります。「思いやり」や「やさしさ」といった「徳」を育むことは、木を大きく成長させ、葉である「知(学力)」をも高くしていることが証明されているそうです。今、文部科学省も「徳」に大いに注目しています。

今の子ども達は、「孤」になっている。友だちと過ごしていても、ゲーム等で個別になり、放課後に団体を遊ぶ姿も見かけなくなった。自然の中で遊ぶことも少なくなった。子どもがキレやすくなっている。この状態を乗り越えさせるものは「根っこ」の部分強くすることです。

根っこを育てるための「土」が、子どもの「居場所」であり、心のやすらぐ場、家族団らん、笑いのある家、子どもの話に耳を傾けること、モデリングということです。また、「水分・肥料」になるのが、「早寝・早起き・朝ごはん」(脳の活性化・バランスの良い食事)・あそび、運動、体験・「読書」・「ほめる、激励する、認める」です。根は急に育つものではないので、「いそがず、あせらず、倦まず、止まらず」を心に留めていきたいものです。

(学校長 小林 達史)

